新宿山吹だより

都立新宿山吹高等学校通信
令和６年度第12号
【令和７年２月６日】

新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

人生を「芸術作品」のように創造する

校　長　　永浜　裕之

自分の意志でノーベル賞を辞退した最初の人物**「ジャン・ポール・サルトル」**は、「私たちはどのように生きるべきか？」の問いに応えた実存主義の哲学者です。その問いの答えとして**「アンガージュマンせよ」**と述べています。**「主体的にコミットせよ」**という意味です。

コミットする対象は二つあり、一つは**「私たち自身の行動」**です。現代の民主主義社会に生きる私たちは、自分の行動を主体的に選択する権利が与えられています。そのような社会では行動や選択は自由であり、「何をするのか／しないのか」という意思決定について自分で責任を取る必要があります。サルトルは、「自由はとても重たいもの」であり、**「人間は自由の刑に処せられている」**と言っています。

コミットする対象の二つ目は**「世界」**です。サルトルによれば、私たちは自分の能力や時間を使って「企て」を実現しようとしており、人生で起きることは全て、その「企て」の一部として引き受けねばならないとしています。彼は**「人の一生のうちに『偶発事件』などは存在しえない」**と言い、例として「戦争」をあげています。

「戦争を、人生の外側からやってきた事件のように考えるのは誤り」、「その『戦争』は『私の戦争』にならなければならない、何故なら私は、反戦運動に身を投じることも、兵役拒否をして逃走することもできたはずなのにそれらをせず、世間体を気にして、あるいは単なる臆病さから、あるいは家族や国家を守りたいという主体的な意志によって、この戦争を「受け入れた」からです。」、「あらゆることが可能であるのに、それをせずに受け入れた以上、それは私の選択である」と指摘しています。

私たちは、外側の現実と自分を、二つの別のものとして考える癖がありますが、サルトルはその考え方を否定し、外側の現実は私たちの働きかけ（ないしは働きかけの欠如）によって、「そのような現実」になっており、**外側の現実は「私の一部」であり、両者は切り離すことができない**と言っています。ゆえに、**その現実を「自分ごと」として主体的に良いものにしようとする態度＝アンガージュマンが重要**になります。

サルトルは、「私たちは自分の存在と自由をしっかりと認識したうえで、その価値を認めることが目標であるにもかかわらず、多くの人はその自由を行使することなく、社会や組織から命ぜられたままに行動する「クソマジメな精神」を発揮していると指摘します。

いわゆる成功は、社会や組織の命じるままに行動して成果を上げ、出世することだと考える人は多いのですが、サルトルは**「そんなものは何ら重要ではない」**と断定します。
「社会や組織が望ましいと考えることを実現することではなく、自分自身が主体的に決定することが重要である」としています。

サルトルの指摘は、現代アーティスト**「ヨーゼフ・ボイス」**が唱える**「社会彫刻」**というコンセプトに重なって見えます。
ボイスは**「私たちは『世界』という作品の制作に集合的に関わるアーティストであり、であるからこそ、この世界をどのようにしたいかというビジョンを持って、毎日の生活を送るべきである」**と述べています。

サルトルは、目の前の組織や社会から突き付けられるモノサシによって自己欺瞞に陥ることなく、**「自分自身の人生を『芸術作品』のように完全な自由から創造する」**ことで、自分の可能性に気付くことができると述べています。

新しいタイプの通信制課程を目指して

-高校生の11人に1人が通信制高校に通う時代-

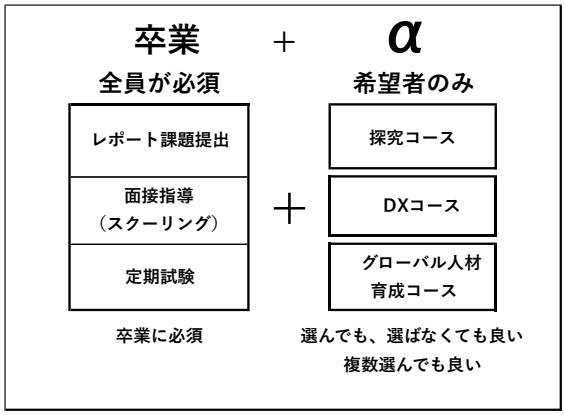
「好きを学ぶ、自由に学ぶ、未来のために学ぶ」

「新宿山吹の通信制課程で学びたい」という希望を持つ生徒の願いを叶えるため、令和７年４月４日実施の入学者選抜では、１学年相当の募集人数を従来の５０名→８０名と、３０名増やします。さらに、新しいタイプの通信制課程に生まれ変わるために、以下の取組を計画しています。条件がそろえば、卒業単位として認定することも考えています。

１　デジタルの活用による学びのサポート（全員対象）

卒業に向けて、生徒の学習計画・学習時間をデジタルで記録し、生徒の学習状況を教員が把握しながら、自学自習を支援します。さらに、基礎から大学受験までを網羅した学習アプリを無料提供し、生徒が自ら学びに向かう環境を整備します。

令和７年度のイメージ



２　探究コース（希望者のみ対象）

進路指導の一環として、探究活動を支援します。希望者が自由に、それぞれの「好きを伸ばす」講座です。自分自身が興味・関心のある物事について探究することが、将来的には、より自分にあった進路選択を可能能にすると考えています。今や約半数の大学が用いている、総合型選抜や学校推薦型選抜や、就職活動に向けての学びを支援します。

３　ＤＸコース（希望者のみ対象）　専門学校等と連携したデジタル教育

文部科学省よりＤＸハイスクールの指定を受け、高性能パソコンを備えた「Yamabuki Didital Labo」を新設し、生徒の情報関連技術の習得・スキルアップに取り組んでいます。令和７年度はさらに進化させ、専門学校・委託事業者等と連携して「イラスト作成」「プログラミング」等、ＤＸ関連講座を開講します。

４　グローバル人材育成コース（希望者のみ対象）「英語」に関する検定合格支援

専門の講師や英語科教員による、英語検定合格に向けた講座を開講します。令和６年度は東京都教育委員会のグローバル人材育成施策の一環である「海外派遣研修」に、４名の生徒が参加しました。今後も機会があれば、生徒を派遣したいと考えています。

日本とヨルダンから持続可能な社会へ　引率者　新村久瑛

令和７年１月７日（火）～１月14日（火）の８日間、東京都教育委員会が主催する多文化共生海外派遣研修（ヨルダン）に参加しました。

半年以上、事前学習の研究を行い、実際に現地で確かめることができました。在アンマン日本大使館・皇太子基金・JICAヨルダン事務所等を訪問し職員の方々から仕事のやりがいや将来の目標についてお話を聞いたり、ペトラ遺跡を視察しヨルダンの歴史を学んだりしました。現地の中高一貫校であるKings Academyでは研究テーマについて発表し、生徒たちと英語で積極的に交流するなど成長した姿も見られました。引率者として、生徒たちの異文化共生への理解や夢の実現への思いがより深まったことを実感しています。

定時制課程　学校行事予定	
２月19日	（水）午前授業　※午後入選準備
20日	（木）２学年相当以上入学者選抜
21日	（金）１学年相当入学者選抜
25日	（火）後期期末考査　*3月1日まで

通信制課程　学校行事予定	
２月８日	（土）後期試験－２
15日	（土）後期試験－３
22日	（土）生徒相談日
３月１日	（土）生徒相談日